

コード	503010101
記入日	H23.6.10

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	立石 克巳

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	スポーツ実践活動の充実事業
----------	---------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50301	基本事業名称	スポーツによる健康づくりの推進	目コード	1
事務事業コード	5030101	事務事業名称	生涯スポーツの普及と振興事業	細目コード	1020
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 体育協会加盟人数		(対象指標1)	2,174人			
(対象2) スポーツ活動住民		(対象指標2)	6,500人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・本年度は以下の6事業を行った。 1.町民スポーツ祭り 154人 2.子ども相撲大会 63人 3.南阿蘇村交流事業 27人 4.佐田の山杯子ども相撲大会 215人 (前夜祭含む) 5.ウォークラリー大会 46人 (雨天中止) 6.子ども相撲教室 延べ63人	*****	*****	*****	事業実施件数6件+計画した事業実施回数6件	*****
		① (達成率分析)	事業実施件数	6件	100%	
		② (達成率分析)	予定事業は6事業すべて実施した。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	参加者数568人+参加予定者数800人	*****
		① (達成率分析)	参加者数	568人	71%	平成22年度
		② (達成率分析)	参加者数においては達成率が低い、種目別に見ると前年を上回るものもある。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	28	28	22	6	6					
	②										
成果指標	① 人	2,986	2,754	2,186	800	568					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	34,333	34,193	25,611	8,722	8,582					
直接事業費 A	千円	6,333	6,193	4,611	1,722	1,582					
人件費 B	千円	28,000	28,000	21,000	7,000	7,000					
内訳	従事職員数	人	4.0	4.0	3.0	1.0	1.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	34,333	34,193	25,611	8,722	8,582					

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	住民の健康づくり、体力づくりの推進は、町が支援すべきものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	時代の変化に関係なく、住民の健康づくりは支援していく必要がある。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	住民の健康づくりの支援であり、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	町のスポーツ行事として定着しつつある。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	基本的には年間6回の行事を計画しているが、人口減・高齢化が進む現状から参加者数が伸び悩んでいる。本町の実情にあった年齢層を対象とした、種目等を検討し成果の向上に努める。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	健康づくりの意識及び町の活性化が損なわれる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	必要最小限度の予算である。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	準備等のための人件費であり削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	1日保険等の参加費の受益者負担を実施している。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在の事業を基本に内容を吟味する。
		有効性	さらに参加者を増やし、スポーツ稼動を充実させる必要がある。
		効率性	受益者負担をさらに進める。
		課題に向けた改善策	教室等においては、各地区での開催、また年齢層を考慮したものなど住民が参加しやすい環境をつくる。
	2次評価	妥当性	町民の健康づくりとスポーツ交流の活動であり妥当である。
		有効性	参加者数では前年度同様に目標達成までには至っていない。住民へのスポーツ参加を促す面では今後も啓発等や実施事業など検討すること。
		効率性	今後も効率的な経費の執行に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続
	●	●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。